**Gaz Derrick ガスデリック
“時間と分の抽出”**

StarfleetとDestination Moonによる無数の宇宙の旅、またはOctopodによる深い海の旅の後、地上近くではL'Epée1839は、新しいキネティックな時計：Gaz Derrick（ガス デリック）の発売により、地球の支配権を握っています。

時間と分はムーブメントの上方にあり、最近開発された新しいムーブメントを使用しています。

沖合のプラットフォーム或いは内陸での掘削かを問わず、Gaz Derrick（ガス デリック）はガスゲージの形状とスタイルの2つのダイヤルを備えています。 それぞれ時間と分を表示します。

ジュラ（スイス）のL'Epée1839によってデザイン・製造されたガス デリックは、想像力を捉えた広大な産業の風景からインスピレーションを得て、具体的で豪華で細心の解釈に変えました。

ゲージを読むように時間を読む： 時間と分は、デリック（やぐら）の中央にある2つの独立したダイヤル上に表示されます。これはレギュレーターです。このダイヤルと本物の産業用ゲージは似ているので、ガス デリックの指令センターに私たちは導かれます。バルブ、パイプライン、リザーバー、ポンプ、さらには中央の掘削軸でさえも、あなたの好奇心を呼び起こす詳細なリアリズムを呼び起こすいくつかの要素があります。完璧に搾取の風景。

この完璧な例として、巻カギと時間設定キーがクロックにはめ込まれています。時間の設定は、デリック（やぐら）の上にある想定外の問題を克服する可能性を象徴するガスバーナーです。

ガスフィールドの近くには穴を開けることができないので、コントロールバルブ形状の巻き上げキーがベースの右側にあり、オーナーはエネルギーの放出を操作することができます。
従来の構造と同様に、時計の機構は地球のエネルギーによって駆動されます。電源は、様々な装飾要素を持った黒いベースに配置されている。注意して見ると、ギア、エスケープメント、エネルギーを保つユニークな香箱を簡単に見つけることができます。

最大7日間の正確な計時が可能なムーブメントです。 281の細かい部品で構成され、専門的に手作業で組み立てられた手仕事は、デリックの底にある控え目な開口部から賞賛することができます。

この通常は圧倒的な産業の景観は、幅が17.8センチメートル、深さが10センチメートルの高さが23センチメートルの、より制限されたサイズで表示されます。

**GazDerrickは黒いベースの2つのリミテッドエディション（それぞれ50台）で発表されます。 ムーブメントとエレメントはイエローゴールドまたはパラジウムメッキのいずれかです。**

**時計制作の際の壮大な芸術作品**

若い才能のあるデザイナーのMartin BOLOとArnaud Nicolas（ブランドディレクター）は、様々なタイプの建物のおもちゃからインスピレーションを得て、L'Epée1839の長年の専門知識の高品質な技量に頼って均質で現実的な構造を作ることに成功しました。

ガス抽出プラットフォームの主な要素は産業建築の一例となり、この時計の背後にある構造をすばやく簡単に認識できます。中央にはデリック（やぐら）が立っていて、次にパイプライン、バルブ、ポンプへと繋がります。すべてが黒いベースの上に調和のとれた正方形の保護ガラスで保護されています。

もっと近づいて要素を見たくなるデザインになっています。それは実物そっくりですが美しいものでもあり、その線の美意識と他のすべてを貴方の創造に任せます・・・L'Epée1839の典型的な優れた技量はもちろんあります。

**L'Epée1839ムーブメントでの初の技術：レギュレーター**

シャーマン用の腕が付いたムーブメントの開発、脚付（アラクノフォビア）、或いは頭蓋骨機構（レクイエム）の後、L'Epeeは特徴的なムーブメントのひとつを再び使用し、ベベル（斜面）ギアのよって時と分のインジケータをオフセットした－新しいテクニックに対するチャレンジです！　長さがほぼ200 mmの中心軸と対になっている水平のムーブメントと水平の脱進機により、L'Epée1839は元の位置からかなり離れた場所で時と分が表示できます。腕時計のレギュレーターのように、2つの独立したダイヤルによって、時と分がムーブメント自体から離れて読み取ることができます。オペレーターが安全ゾーンで装置を読み取っているような感じです。

ここで、デリックの重要な穴あけ軸の要素は時針と分針の中心軸になり、デリックのようにすべての情報をユーザーに表示します。この工業的な側面をさらに進めて、ダイヤル自体は圧力計のように設計されています。

上部にデリックガスバーナーがあり、過圧を調整して安全な設定を維持できます。

L'Epée1839ではガスバーナーは時間設定のリューズになり、パワーが切れた場合に時間を調整できます。

たとえば、オーナーが機構の巻き上げを忘れた場合などです。

1週間のパワーリザーブ付きの1853RVキャリバーのムーブメントは、スイスのDelémontにある工場で完全に製造されています。必要な電力を供給するために豊富な鉱物資源を地下から抽出するのと同じように、L’Epee 1839のガス デリックはデリックの下のベースの内側に収められた香箱のエネルギーで稼働します。

石油産業で使用されるレギュレーターは、圧力除去バルブのシステムに基づいている一方、ここでは同じものが再現されていますが、差動装置の輪列と脱進機付きの時間のレギュレーターになっています。ブランドの特徴であるメカニズムは、深い穴を通して見ることができ、美しさや機械的構造を好む人は細工を鑑賞することができます。

昼夜を問わず、掘削プラットフォームは稼動し続ける必要があり、その状態に関する情報を提供する必要があります。したがって、Gaz Derrick（ガス でリック）にはスーパールミノバ付きの2つの針が備わっているので、照明に関係なく時間を読み取ることができます。

**業界の概要**

このキネティック（動く）彫刻の最も印象的な要素は、間違いなくデリック（やぐら）です。これは14.3センチメートル以上の長さです。これは標準的な時計製作の寸法とはかけ離れており、金とパラジウムの両方のバージョンは完璧な仕上がりを誇っています。掘削には必須の要素であると同様、ここでも重要な要素です。デリック（やぐら）は、時計機構からパワーと情報を時針および分針に送る軸をサポートします。

デリック（やぐら）の内部では、完璧に作成されたドリルストリング（掘削用ドリルパイプ）が、岩石の破片やガスを吊り上げるために使用されます。 ガス デリックにもこのドリルストリングが組み込まれています。それは時間の中心軸になっており、時と分のインジケータを設定できます。

地上のレベルまで下がると、特定の世界を思い起こさせる、忠実なデザインが残されている典型的な要素がいくつか見つかります。

具現化への深い理解を望んでいる好奇心と疑問を抱く心は、巻きカギの穴がどこにあるのか疑問に思うでしょう。実際、穴はありません。私たちは特別な環境にいることを忘れないでください。穴を開けることはできません。したがって、ベースフィールドの右側にあるコントロールバルブが、実際にはムーブメントを巻きあげるためのカギです。
毎週、石油の操業管理者がガス デリックにガスを供給するのと同じように、バルブを開いて十分なパワーが時計に供給されるようにするだけです。 5〜7回完全に回転させることで、時計は7日間稼働します。

**デリックの歴史と自然ガスの抽出**

4本脚のデリック（やぐら）の最初の特許は1825年に発行され、その後1830年に木材から建設されました。1912年に最初のスチール製のデリック（やぐら）が発売されるまで、構造には無数の改良が行われました。 19世紀の始めには、無数の発明と独創的な創造が誕生しました。ガスの抽出が始まり、近代化され、常に同じ掘削と抽出の原理で行われました。

ガスは石の中に含まれていることが多いので、これはそれほど単純ではありません。これにはすべてのリスクが伴い、専門家は大自然の力を最大限に引き出し、日々の生活に必要な力を提供できるように努力しています。

天然ガスは、国が達成したいと望む野心的なCO2削減目標を達成する最も効果的な方法の1つです。それは、安全で清潔で価格競争力のある方法で世界のエネルギー需要を満たす助けになり、ますます増大する世界のエネルギー需要に持続的に対応する方法です。ガスは柔軟なエネルギーなので、耐久性があり同時に効率的でもある、操作モードが非常に早く調整できる生産ツールです。これは太陽や風がないときの間欠性を補う再生可能エネルギーの最高の味方になります。また、ピーク消費時にもそれらを補完し、環境上の恩恵を拡大することができます。

GAZ DERRICK

TECHNICAL INFORMATION

リファレンス

76.6007/002 – Gold-plated

76.6007/102 – Palladium-plated

リミテッドエディション: 各色50台

寸法: 17.8 x 10 x 23.3 cm

重量: 3.2 kg

合計で 281個の部品

機能

時と分の表示: ふたつの独立した、白く明るい黒色のパッド印刷されたダイヤルで、上のダイヤルが時を表示し、下のダイヤルが分を表示します。 ルミノーバ（SLNグリーンがパワー不足を埋め合わせる）付きのポリッシュされた針（バージョンによって、金メッキまたはパラジウムメッキ）で時間表示

**L’EPEE 1839 MOVEMENT**

自社で設計・製造される水平のL’Epée 1839 ムーブメント

1853RV キャリバー– 水平脱進機

周波数: 18'000 A/h / 2.5 Hz

ユニークな香箱

パワーリザーブ: 7日

部品点数: 147

石の数: 11

インカブロック保護システム

金或いはパラジウムメッキされた真鍮の機構

独立したバルブによる手巻きムーブメント

デリック上部のリューズによる時間調整

素材: ステンレスと真鍮

仕上げ: ポリッシュ、サンドブラスト、サテン仕上げ

構造と装飾

部品点数: 134の完全に手仕上げの部品(ムーブメントは含まず)

* デリック: 時間と分の照会技術を保護する素晴らしい産業スタイルの構造
* バルブ: クロックの巻き上げに使用
* モーター: 完全に手でポリッシュされた装飾
* パイプライン: 折り曲げられメッキされた真鍮ロッド
* ポンプ: 手でポリッシュされサテン仕上げされた真鍮に装飾

**ケーシング**

上部に水平脱進機が見える黒いアルミベースと、透明な円から見えるシリンダー

支柱無しのミネラルガラス

**L’EPEE 1839—スイスの卓越したクロックマニュファクチュール**

L'Epéeは175年以上の歴史を持つ著名な時計メーカーです。今日では、ハイエンド時計の製造産に特化したスイスの唯一のメーカーです。 1839年にフランスのブザンソン（Besançon）地方にオーギュスト・レペ（Auguste L'Epée）によって創設した同社は、もともとオルゴールや時計部品の製造に注力していました。この初期の段階でも、ブランドは完全に手作りと同義でした。

1850年以降、L’Epeeはエスケープメントの主要メーカーとなり、目覚まし時計、テーブルクロック、ミュージカルウォッチ用の特別なレギュレーターを開発し始めました。幅広い認知度を得て、特にアンチノッキング、自動スタートおよび一定力のシステムでの使用のために、特別な脱進機のための多数の特許を出願した。 L'Epéeはいくつかの有名クロックメーカーの主要サプライヤーとなり、世界中の展示会で多くの金メダルを受賞しました。

20世紀には、優れたトラベルクロックで大成功しました。 多くの人達がL'Epéeのブランドを影響力のある個人や権力のある人たちと結びつけいています。フランス政府のメンバーは、しばしば彼らの著名なゲストに時計を与えました。コンコルド超音速飛行機が1976年に商業飛行を開始したとき、L'Epéeは客室にウォールクロックを取り付け、乗客に時間を見せました。 1994年、世界最大の振り子時計「ジャイアントレギュレーター」を製造することで、ブランドの挑戦への魅力を実証し、ギネスブックに掲載されました。

L'Epée1839は現在スイス・ジュラ山脈のデレモンに拠点を置いています。 CEOのArnaud Nicolas氏は、洗練されたクロックの全範囲を含む非常に優れたテーブルクロックのコレクションを開発しました。

コレクションは3つのテーマに焦点を当てています。

創造的なアート - 芸術的な作品は何よりもまず、しばしば共同創作として外部デザイナーと提携して開発されました。これらの時計は、最も年季の入ったコレクター達を驚かせ、刺激し、衝撃を与えています。それらは、意識的にまたは無意識のうちに、比類のない例外的な物を探している人を対象としています。

コンテンポラリータイムピース - レトログレード秒、パワーリザーブインジケータ、ムーンフェイズ、トゥールビヨン、チャイムメカニズム、パーペチュアルカレンダーなどを統合して取り入れた現代的なデザイン（Le Duel、Duetなど）とミニマリスト、アヴァンギャルドモデル（La Tour） 。

キャリッジクロック - 最後に、伝統的なトラベルクロックで、「役人の時計」とも呼ばれます。ブランドの遺産から生まれたこれらの歴史的作品には、チャイムメカニズム、ミニッツリピーター、カレンダー、ムーンフェイズ、トゥールビヨンなどの特徴を備えています。

すべての作品は社内で設計・製造されています。彼らの優れた技術、形と機能の組み合わせ、非常に長いパワーリザーブ、素晴らしい仕上げは、ブランドの特徴となっています。